

重点施策 図書館活動の充実	<table border="1"> <tr> <td>評価実施者</td> <td>所 属</td> <td>図書館</td> </tr> <tr> <td></td> <td>職・氏名</td> <td>館長 森 昌之</td> </tr> </table>	評価実施者	所 属	図書館		職・氏名	館長 森 昌之
評価実施者	所 属	図書館					
	職・氏名	館長 森 昌之					

重点施策の概要	目的	生涯学習の拠点として、誰もが気軽に立ち寄ることができ、市民の暮らしの課題解決に役立つ便利な図書館を目指し、蔵書及び読書環境の充実を図る。また、読書を通じた豊かな想像力を育てるため、学校などと連携しながら、子どもの読書活動を支援する。
	今年度の主要事業	○生涯学習拠点としての図書館の充実 ○子どもの読書活動の推進

事業の目標と実績	区分	単位	H23	H24	H25	特記事項	
			1	1日当たり入館者数(本館)	目標 実績		人
2	市民1人当たり貸出冊数	目標 実績	冊	3.3 2.1	5.3 5.1	5.3 5.2	
3	回転率(本館・個人)(貸出冊数/蔵書冊数)	目標 実績	回	1.1 0.7	1.3 1.6	1.3 1.5	
4	市民1人当たり蔵書冊数	目標 実績	冊	3.7 3.0	3.8 3.2	3.8 3.4	
5	読書アルバム100冊達成数	目標 実績	人	185 185	194 159	203 139	
6	児童生徒1人当たり図書館学級文庫貸出冊数	目標 実績	冊	1.8 1.8	5.3 5.3	5.9 5.9	

事業の分析効果の検証	<p>①入館者は、前年の106,443人と比較して161%と増加した。市民1人当たりの蔵書冊数も、全国4~6万人市平均には及ばないものの、3.4冊と徐々に充足されつつある。貸出冊数は前年度と比較して微増にとどまっているが、入館者は順調に増えていることから、交通アクセスの改善とともに、蔵書の充実、企画展示・市役所各課との連携展示・イベントなどソフト事業の積極的な実施により「便利で役立つ立ち寄り型図書館」が認知・評価されたと考えられる。</p> <p>②読書アルバムは目標を下回ったものの、図書館学級文庫では年間40回の実施で17,591冊(前年比+8.4%)・1人当たり5.9冊の貸出を行ったほか、調べ学習用図書の貸出し、読み聞かせやブックトーク等の授業支援、学校図書館の環境整備支援等の取組みにより、児童・生徒の読書機会が増加した。これらの積極的な取り組みが評価され、「平成25年度子どもの読書活動優秀実践図書館・文部科学大臣表彰」を受賞した。</p> <p>また、H26.3に「滝川市子どもの読書活動推進計画(H26-H30)」を策定し、滝川市の子ども読書環境整備に取り組む基本的方向と具体的方策を明らかにした。</p>
-------------------	---

課題	<p>①市民1人当たり蔵書冊数は、やや改善されたものの、全国同規模の市立図書館の87%である。蔵書は図書館の最も重要な基盤であり、入館者数や貸出冊数、回転率の維持・向上には蔵書の充実が不可欠なことから、今後も図書購入費の増額等、継続的な取組みが必要である。</p> <p>②子どもの読書活動の推進については、学校をはじめ地域・幼稚園・保育所等との連携をより密にししながら、推進計画の具体的方策の実現を図る必要がある。</p>
-----------	--

評価	A	<p>評価の視点1 期待どおりの効果があったか</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧図書館及び前年度と比較すると、数値は伸びており、立ち寄り型図書館としての評価は定着してきたものと考えられる。 <p>評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の余地があるか</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の情報拠点として、より市民に役立つ図書館を目指すためにも、基本的な資産である蔵書の充実を図りながら、利用者視点に立った各種サービス強化と連携を深めながら各種ソフト事業展開や子どもの読書活動推進を行う必要がある。
-----------	----------	--

【評価の区分】

- A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
- B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
- C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。
- D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	<p>立ち寄り型の便利で使いやすい図書館として、図書館が果たすべき役割を常に検証しつつ、利用者ニーズに応えた蔵書の充実と、「連携」をキーワードに、より親しまれる地域の情報拠点を目指す。また、子どもの読書活動推進も計画に基づき関係各所と連携して取り組む。</p> <p style="text-align: center;">□ 拡充 □ 縮小・統廃合 ■ 質的向上 □ スピートアップ □ 検証 ■ 継続</p>
------------------	--

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	<p>図書購入費が低い。子どもたちも言葉の不備によるトラブルがあるが、語学力を向上させるため、図書の充実を図られたい。</p>
----------------------	---